

屋内消火栓操法基準

審査項目	図	指揮者	1 番員	2 番員
待 機	1	指揮位置にて“ <u>基本の姿勢</u> ”で待機する。	・集合線上で、一列横隊にて“ <u>基本の姿勢</u> ”で待機する。(1番員が消火栓ボックス中央線上で基準となる。)	
開 始		【審査員の指示『操法開始』】		
開始報告	2	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>指揮位置で、まわれ右をして、審査員に正対し</u>、“基本の姿勢”をとる。 ・『〇〇市〇〇会社自衛消防隊、ただ今から屋内消火栓操法を開始します。』と報告する。 ・開始報告が終われば、<u>まわれ右をして、番員と正対し</u>“基本の姿勢”で待つ。 	・“基本の姿勢”で待つ。	
タイム計測開始		・各コースの <u>指揮者及び各番員の準備が整えば</u> 、ピストルにて開始の合図をする。	『ピストル音』	
操作開始		<ul style="list-style-type: none"> ・『操作始め』と号令をかける。 ・1・2番員の『よし』の呼唱で、操作を開始する。 	・指揮者の『操作始め』の号令に対して、一斉に『よし』と呼唱する。	
扉 開 放	3	・消火栓ボックス付近にいたる。	・消火栓ボックス付近にいたる。	・消火栓ボックス付近にいたり、扉を開放して『 扉開放よし 』と呼唱する。
ホース延長	4	<ul style="list-style-type: none"> ・2番員の『扉開放よし』の呼唱で、筒先と第2ホースを取り出す。 ・左手に筒先、右脇に第2ホースを抱え、火点方向に向きを変え、左足を一步踏み出し『よし』と呼唱する。 ・1番員の『よし』で、火点に向かってホース延長を開始する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指揮者に続いて、第1ホースを取り出し、右脇に抱えて火点方向に左足を一步踏み出し『よし』と呼唱する。 ・『よし』と呼唱すれば、指揮者と呼吸を合わせてホース延長を開始する。 ・途中の障害物(第1ドラム缶)を通過した後、ホースの第2結合部の結合を確認し『よし』と呼唱した後、“折りひざ”で金具を地面に置き、“基本の姿勢”をとる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1番員のホース取り出しの補助を行う。 ・余裕ホース(約2m)をとり、“基本の姿勢”で1番員の伝達を待つ。
放水開始	5	・余裕ホース(約2m)をとった後、火点に向かい“ 基本放水姿勢 ”をとり、1番員に対し『 放水始め 』と号令をかける。	<ul style="list-style-type: none"> ・『放水始め』と復唱し、延長ホースに沿って2番員に伝達に向かう。 ・伝達位置にて2番員に正対して停止し、“基本の姿勢”から右手を垂直に上げて『放水始め』と伝達する。 ・伝達後、2番員が右手を下ろすのを確認してから右手を下ろし、ホースに沿って火点に向かって走る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1番員の『放水初め』の伝達に対し、右手を垂直に上げて『放水始め』と復唱した後、屋内消火栓を起動させる。 ・起動ボタンを押して『起動ボタン よし』と呼唱、開閉バルブを全開して『バルブ開放 よし』と呼唱する。 ・通水を確認後、ホースに沿って火点に向かう。
タイム計測終了		・ 標的を落とす 。		
筒先員交代	6	<ul style="list-style-type: none"> ・標的が落ちれば、1番員が戻って来るまで“基本放水姿勢”で待つ。 ・1番員に対し『筒先員交代』と号令をかける。 	・指揮者の1歩後方に“基本の姿勢”で停止し『 伝達終わり 』と呼唱する。	

審査項目	図	指揮者	1 番員	2 番員
筒先員交代	6	<ul style="list-style-type: none"> 1 番員の『よし』の呼唱で、“火点指揮位置”に行き、隊員に正対し、“基本の姿勢”で2番員が放水補助に入るまで隊員を監視する。 2番員が放水補助に入れば、火点に向きを変え“基本の姿勢”で火点の状況を監視する。 	<ul style="list-style-type: none"> 指揮者との交代が完了し“基本放水姿勢”をとれば、『よし』と呼唱する。 	<ul style="list-style-type: none"> 1番員の1歩後方に“基本の姿勢”で停止し『放水操作完了』と呼唱する。 呼唱後、ホースの反対側に移動し、1番員の放水補助に入る。
放水止め	7	<p>【審査員の指示『放水止め』】</p> <ul style="list-style-type: none"> 筒先員の方向に向きを変え『放水止め』と号令をかける。 2番員の『バルブ閉鎖 よし』の呼唱で、火点に向きを変える。 	<ul style="list-style-type: none"> 指揮者の号令に『放水止め』と復唱する。 2番員の『バルブ閉鎖 よし』の呼唱に“基本放水姿勢”のまま『よし』と呼唱し、残水処理を行う。 残水処理完了後、“基本の姿勢”をとる。(右手は筒先を持ったまま右足にそえる。) 	<ul style="list-style-type: none"> 1番員の復唱に『よし』と答え、ホースに沿って消火栓ボックスまで走り、バルブを閉鎖し『バルブ閉鎖 よし』と呼唱する。 呼唱後、向きを変え、ホースに沿って1番員の1歩後方まで行き“基本の姿勢”で停止し『バルブ閉鎖 よし』と、呼唱する。
終了整列	8	<p>【審査員の指示『おさめ』】</p> <ul style="list-style-type: none"> 隊員の方向に向きを変え『集合線に集まれ』と号令をかける。 各番員の先頭にいたり、並んでホースに沿って指揮位置に向かう。 指揮位置に戻り、各番員に正対して“基本の姿勢”をとる。 	<ul style="list-style-type: none"> 指揮者の『集合線に集まれ』の号令に対して、一斉に『よし』と呼唱する。 2番員は、向きを変え、指揮者に続きホースに沿って集合線に向かう。 1番員は筒先を置き、向きを変え、2番員に続きホースに沿って集合線に向かう。 1番員を基準として集合線上に自主整頓する。 	
服装点検	9	<ul style="list-style-type: none"> 各番員が集合線上で整列したのを確認し『服装点検』と号令をかけ、自らも服装の乱れ等を点検する。 	<ul style="list-style-type: none"> 指揮者の『服装点検』の号令に対して、服装の乱れ等を点検する。 	
終了報告		<ul style="list-style-type: none"> 指揮位置で、まわれ右をして、審査員に正対し、審査員に正対し“基本の姿勢”をとる。 『〇〇市〇〇会社自衛消防隊、屋内消火栓操法を終了しました。』と報告し、まわれ右をして、番員に対して退出の指示を出す。 	<ul style="list-style-type: none"> “基本の姿勢”で待つ。 	
退 場		指揮者の指示のもと退場する。		